

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	有限会社エス・シー 放課後等デイサービスニコ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 27日		2025年 2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2025年 1月 27日		2025年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アットホームな雰囲気施設である 児童もリラックスして過ごすことができいま す。また職員同士も連携をとれており、明るく暖かい雰囲気 の中で療育を受けていただくことが出来ています。	保護者や学校と連携して児童それぞれの特性や困りごと を理解し、活動内容や様々な場面での得手不得手など を都度職員間で情報共有しています。それぞれの特性 に合わせて教具を手作り することもあります。	毎月児童の製作物を数種類飾ったり、季節に合わせた壁面装 飾を月ごとに貼り替えて、いつでも楽しんでもらえるよう にしています。児童の製作については、季節に合うもので指先 の訓練にもなるものを毎月準備しています。持ち帰った際 には保護者からもご好評いただいています。
2	送迎や対応時間等臨機応変に対応している 送迎場所や送迎時 間において、ご家庭の都合や児童の体調等に 合わせて柔軟に 対応しています。気軽にご相談いただけるよう、電話、メー ル、連絡ノートなど、様々な連絡ツールをご用意しています	一時的な祖父母宅への送迎や自宅、学校・学童への送迎 など、それぞれのご家庭の都合に配慮した送迎を行っ ています。事前に保護者や園と打合せ・確認を行い、 児童を安全に送迎できる よう心がけています。	児童を担当制にすることで保護者や児童に安心感をもっ てもらおうと同時に、細かな変化にもいち早く気づくことができ 、保護者や学校と情報共有して対応方法などのご提案をさせて いただくことができると考えています。
3	個別で1人1人に合わせた療育を行っている アセスメントを しっかりと行いニーズや課題を理解した上で、 それぞれにあ わせた支援計画を作成し、それに基づいた支援を行っていま す。児童1人に対して職員1人以上を配置することによっ て、きめ細かな対応をすることが出来ています。	児童の状態や課題に関して職員間で情報を共有し、担当 外の職員でも気軽に声を掛け合ったり会話を楽しむ 等、楽しい空間を 作る事が出来るよう工夫していま す。	支援計画の定期的な見直しを行い、児童の成長や変化に応じ た最適な療育を提供していきます。 職員のスキルアップを図るために、定期的な研修や勉強会 を開催し、療育やコミュニケーションの技術を向上させるこ とも必要だと考えています。 他施設との連携を強化したり、外部講師を招いたりするこ とで、新たな知見を取り入れ、支援の質を向上させていき たいです。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個室が少ない。	完全な個室が1部屋しかありません。	リビングの一部をカーテンで仕切り、できるだけ児童 が集中して課題や活動に取り組むことが出来るような 半個室を作っています。音が気になる児童や集中力が 持続しにくい児童が優先的に個室を利用できるよう配 慮しています。
2	経験豊富な職員が少ない。	開所して間もないこともあり、療育の経験のある職員が 少ないのが現状です。	児発管や児童発達支援・放デイでの療育経験のある職 員、また他事業所の方から助言をいただいたり、さま ざまな研修を受ける等日々知識を深める努力をしてい ます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスニコ

公表日 2025年2月25日

利用児童数 12件

回収数 5件

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	1		1		安心した環境作りに努めています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1	3		1		職員も安心できる人員を確保を目指します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4			1		今後も継続していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3	1		1	清潔で心地よく、過ごしやすい	毎日の清掃に加えて、感染症対策として換気・消毒を徹底しています。床に座るなどして活動することがあれば、寒い時期は床暖房も活用しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3	1		1	・特性に合ったトレーニングをしてもらっている	児童の特性やご家族・ご本人の要望に合わせて支援を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3	1		1	支援プログラムが何かわからない。	支援プログラムが何かわからない。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4			1	個別懇談をした上で支援計画書を作ってくれている。・詳しく丁寧に支援計画が作成されています	半年に一度モニタリングを行い、ご家族やご本人の要望を理解した上で支援計画書を作成しています
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5				・子どもに必要な支援をいろいろ考えてサポートしてくれている。	今後も継続していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4			1	1か月の活動プログラムがあると助かる。	児童の体調や状態、天候等により柔軟に対応しているため、固定の活動プログラムを決めていません
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3			2	毎回いろいろな製作や活動をしてくれるので、帰宅後笑顔で教えてくれる。	長期休み中のお出かけ先や季節の製作など、活動内容が固定化してしまわないよう工夫しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1		2	利用を知られたくない人に配慮しているため行われていないと思っている。	他の放デイ施設からご招待がありイベントに参加させていただいたことはありますが、個人情報保護の観点から地域の子どもたち等と交流する予定は現時点ではありません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					今後も継続していきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1		1	3	利用を知られたくない人に配慮しているため行われていないと思っている。	個人情報保護の観点から、家族等が参加できる研修会等の開催は予定しておりません。外部の研修等の情報がありましたら提供させていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	3	1		1	連絡ノートの利用や送迎時に職員と直接話す機会がある。	送迎時や連絡帳や連絡ノートを利用して、児童の様子や課題について情報の共有をしています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2			3		半年に一度個別懇談を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3			2		
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4			1		イベントの開催などによる保護者のつながりを目指します。	

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4			1	・何度か相談したが、いつも迅速に丁寧に対応してくれている。	相談や申し入れがあれば、すぐに職員間で情報の共有を行い、可能な範囲で対応しています。不可能である場合でもきちんとその旨を説明し、ご理解をいただいています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	1			連絡ノートや電話などで気軽に連絡しやすい雰囲気。	連絡帳や連絡ノートなどを活用しています
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5					今後も継続していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2			3		子ども及び保護者に対する周知を心がけます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			4		安心してご利用いただけるよう、訓練内容の情報提供を心がけます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4			1	報告はあるが、対応に疑問に思うことがあった。	事故や怪我がないようにしっかりと注意するとともに、万一起こってしまった場合にはご納得いただけるようしっかりと説明できるようにしていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5					安心してご利用いただけるよう、事業所提供を心がけます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3	1		1		楽しい、行きたいと感じるて頂ける事業所提供を心がけます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	3	1		1		満足いただける支援内容を検討していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスニコ		公表日		2025年 2月 25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	子ども達・職員が安心して過ごせる環境作りを行っています。	引き続き安心して過ごせる環境作りを務めています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3		利用定員に応じて職員配置数を確保したいと思えます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	バリアフリーが徹底できていないので、解消していく	ヒヤリハットなどを活用しながら、日々の活動の中で気を付けておくことを職員間で周知する。また、施設の構造上やむ負えない場合は、必要であれば保護者と事前に必要な配慮や体制を確認し、職員間で共有しておくなどする。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日の清掃に加えて、感染症対策として換気・消毒を徹底しています。床に座るなどして活動することがあれば、寒い時期は床暖房も活用しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	児童の特性や活動に応じて、個室・大部屋を使い分けています		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	定期的に職員会議を行い、支援内容や児童の様子を振り返りながら今後の方針を決定しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	評価表でいただいたご意見・ご意向をもとに職員会議を行い、改善すべき点の共有と改善に向けた取り組みを行っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	職員会議や個別の面談において職員の意見を把握し、業務改善に活かしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		第三者による評価を検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	外部研修に参加し、その内容を事業所内で共有して知識を深めています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	ホームページ上に公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	半年に一度個別懇談を行い、支援計画書を更新しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	アセスメントをもとに職員会議を行い、1人1人に合った支援を提供できるよう取り組んでいます。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	職員会議で共有するとともに、支援計画に沿った課題や活動プログラムを立てています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	標準化された評価を使用して、児童の特性把握に努めています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	ガイドラインに沿って支援計画書を作成しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	支援計画をもとに複数人で活動プログラムの立案を行っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	様々な活動を取り入れ、固定化しないよう工夫しています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	児童の特性や状況を考慮し、必要に応じて個別活動を集団活動を組み合わせ支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	職員間で支援内容を共有し、内容や役割分担について話し合っています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	毎日支援についての記録を残し、職員同士の話し合いをもとに活動の見直し・改善を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	半年に一度個別懇談によるモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1	児童の特性に合わせ、4つの基本活動をそれぞれに適した形で支援に組み込んでいます。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	5	0	活動をする順序や活動内容、外出先など、いくつかの選択肢を提示して児童に決定してもらう状況を作っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	保育園に見学に行かせていただき、その際に児童の支援内容について情報の共有を行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	協力医療機関や相談支援事業所、保育園などと連携して支援を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	送迎時に担当の先生から報告を受けています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	必要に応じて情報共有等の相互理解に努めています	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	障がいのあるなしに関わらず地域に出て社会経験をする機会作っているが、特に行事等で積極的に交流を持つことはない。	保護者や本人への希望を第一に考えて、方法等も含めて検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	まだ1年目のため学校を卒業する児童に立ち会っていません。	必要に応じて関係機関児情報提供を行っていきたくと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	連絡帳や連絡ノートを利用して、児童の様子や課題について情報の共有をしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	必要な児童には課題の取り組み方や関わり方の専門的な知識を教えるなど、保護者支援も含めて取り組んでいる。	保護者やご本人のご自宅での困りごとの共有を、職員全体でおこなう。また、二コで取り組んでいる支援を説明し、ニーズや状況にあったペアレントトレーニングを実施をおこなう。
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	保護者にも契約時に説明を行い、別途費用が発生するものに関しては事前の説明を行っている。	見学のタイミングでの説明、契約時での説明は、今度も保護者に分かりやすいように伝える事を意識していく。また、その際に必要であれば、紙面を活用するなど伝える工夫を検討する。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1	半年に一度個別懇談を行い、児童やご家族の意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	作成した支援計画をご家庭で確認していただき、不明点があればお答えする形で説明を行っています。ご署名をいただくことで同意をいただいたと判断しています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	面談等通して保護者の悩み等を聞き取り対応を伝え、必要に応じて関係機関と連携していく。	今後も保護者、関係機関との連携を密にとり、そのご家庭に合わせた助言や解決方法を意識していく。

護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	希望者には実施しているが、現状積極的に実施はしていない。	今度のニーズに応じて、実践について検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	相談や申し入れについて、可能な範囲で迅速に対応しています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	月に1度、紙のおたよりとホームページでの活動内容報告や連絡を行っています。緊急のお知らせのためにSNSも活用しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報については鍵の付いた書庫で管理し、書類の持ち出しなどはしないように徹底している。個人情報が特定されるものには目隠しをするなど来客時の対応もしている。	現状に満足せず、個人情報の漏洩や紛失がないように、徹底して取り組んでいく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	まだそういった機会を設けたことはありません。	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	契約時に、すべてのマニュアルを保護者に説明している。また、すべての職員が見れる場所に各マニュアルを保管し、会議でも話し合っている。	マニュアルを活用するだけでなく、実際のシミュレーションを行って確認と周知をおこなう。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	BCPを策定し、職員間で理解の共有をしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	契約時に、服薬や予防接種、てんかん発作等に確認をおこなっている。	専属の看護師と連携をおこなう。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	アレルギーについての基礎知識の研修の実施を検討する。また、アレルギー表を継続して掲載し、随時更新、認知、把握ができるようにする。	嘱託協力機関と連携し、重篤なアレルギーを持つ子どもの対応については、指示に仰ぐ。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	契約の際に避難経路や災害等の際の対処方法について説明しています	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハット事例は事業所内で作成し、会議で情報共有をし、検討している。個人情報にかかるものは鍵付きの書庫で管理している。	新しい職員が入った際にも、ヒヤリハットの活用方法を周知できるようにしておく。また、年に1回事業所内であったヒヤリハットの事例をもとに、日々活動で注意しておく事を職員間で共有していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待研修などを受けるように指導しており、虐待研修に参加する。	外部の研修、内部の研修だけでなく、実際にあった出来事を通して事業所内で検討する機会を作る。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	契約時に十分に説明を行い、重要事項説明書に記載している。	今後も計画書に載せている内容を、計画説明時に再度伝達して、必ず周知を行う。また、契約時にも必ず説明を行う。	